

エアライン・トレーニング・スタディ(夏期)

プログラム区分	海外実習
主幹部署・問合せ先	現代国際学部
研修先国・都市名	マレーシア・ペタリンジャヤ
研修先	マレーシア航空(MAB)アカデミー
プログラム概要	<p>クアラルンプール近郊にあるマレーシア航空研修センターにて、4日間の客室乗務員(CA)研修を体験します。プログラムの内容は緊急時の対応の実地訓練、そしてマレーシア航空の基準に即したメイクとヘアスタイルを習い、制服を着用して立ち居振る舞いや機内サービスのレッスンをします。マレーシア航空の日本人CAが指揮を執り、中身の濃い研修を体験します。宿泊はホテルとなり、マレーシア滞在中はイスラム文化を通して異文化を学ぶこともできます。</p>
日程	出発予定時期：2025年8月下旬 帰国予定時期：2025年8月下旬 期間：約10日間
単位認定	エアライン・トレーニング・スタディB (2単位)
他学科生の受入れ	可 受入れ可の他学科：全学科
語学研修の有無	無
引率者の有無	有
住形態	ホテル
その他	説明会は4月に実施予定でポータルにて案内。研修期間は7日間を予定。

体験記

エアライン・トレーニング・スタディ(夏期)に参加して

氏名：岡本有里子 (2024 年度参加)

研修を通して、飛行機を利用されるお客様を無事に目的地までお送りすることが客室乗務員にとって最も重要なことであり、更に狭い空間での空の旅をいかに快適に楽しんでもらえるかも大切であると感じました。

客室乗務員はサービス要員としての華やかなイメージが強いですが、緊急時の訓練を体験し、安全を守らなければならない保安要員としての役割の重要性を痛感しました。お客様の命を背負っていること、自分の判断で多くの人の命を左右することを学びました。

また、サービス要員としてお客様からの様々なご要望に応えなければなりません。狭い機内ではご要望全てに対応できるとは限りませんが、制限がある中でいかにお客様も納得のいく対応ができるのか言葉選びや伝え方を考えることが大切だと感じました。

M A B アカデミーのインストラクターや社員の方々はいつも素敵な笑顔で私たちを明るく迎え入れてくださいました。マレーシアンホスピタリティと多くの思いやりを感じる日々でした。エアライン業界を志望するにあたり、安全を守り抜くことはもちろんのこと、お客様の安心に繋がる人となるの大切さも学びました。マレーシア航空で実際に仕事に取り組む方々を身近に感じる事ができた大変貴重な機会でした。

このような素敵な経験に加え、同じ夢を持つ仲間に出会えたこともかけがえのない宝物です。

客室乗務員だけではなく、エアライン業界全体の理解に繋がりました。これから仕事を選び、就職するにあたり自分のやりたいこと、やりがいに感じることを重要視し進路選択をします。

